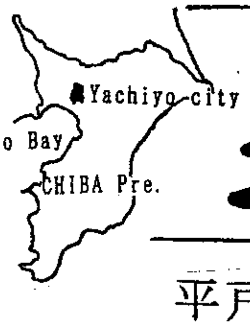
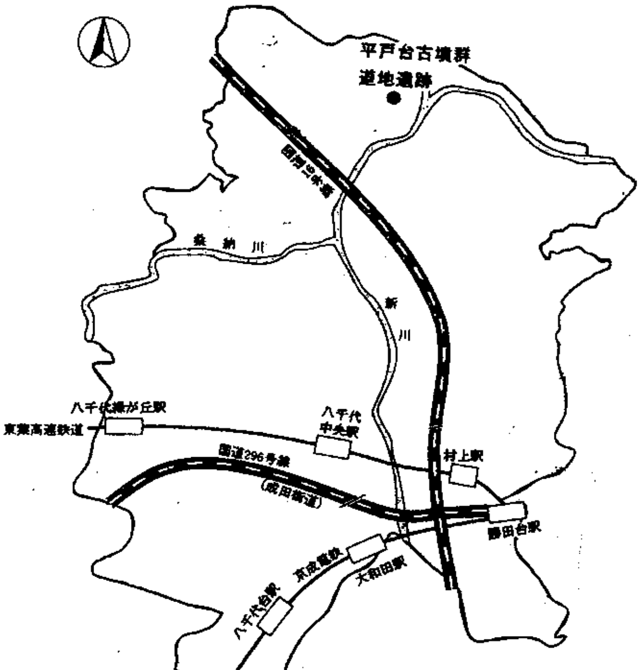


埋（まいつ）やちよ

No.22

2009. 7. 15.
(平成21年)

平戸台（ひらとだい）８号墳特集



今回は、平成20年度に発掘調査した、平戸台古墳群の第８号墳（以下、「８号墳」と記します。）をとりあげます。

調査の経緯　資材置場建設に先行する発掘調査です。平成19年度に確認調査を行い、古墳の範囲などを確認し、平成20年度に本調査と報告書刊行のための整理作業を行いました。

古墳の所在地　平戸字西ノ上に所在します。現況は山林でした。

平戸台古墳群について　９基の古墳が散漫に分布していましたが、現在はほとんどが破壊されています。８号墳の北東140mには２号墳があって、平成11年度に箱式石棺の発掘調査を行い、多数の人骨と副葬品が出土しました。「埋やちよ」６号に速報を掲載しています。

道地遺跡　平戸台古墳群には、道地(どうち)遺跡も重複しています。近年開通した県道の船橋印西線の建設に先行する発掘調査で、弥生時代後期や古墳時代前期・後期の竪穴住居跡が、89軒発掘されています。ちなみに、２号墳・８号墳ともに弥生時代の竪穴住居跡が重なっており、象徴的です。

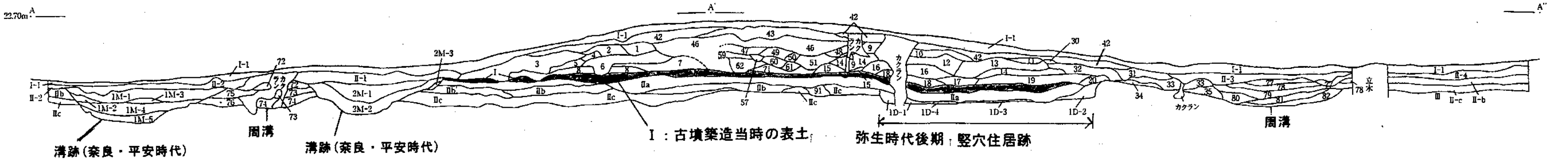
８号墳の調査　調査前の観察では、直径13m、高さ１m弱の低い円墳に見えました。測量したところ墳丘頂上の標高は22.549m、ふもとの標高は21.85m前後で、その差はやはり70㎝ほどでした。

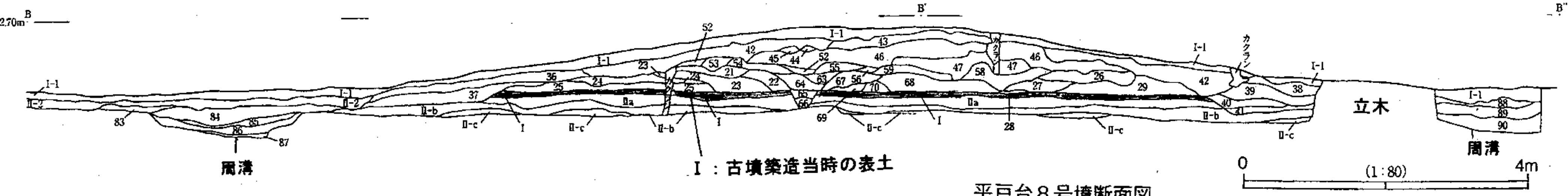
周溝の規模は、幅1.3～4.0m、平均２～３m、深さ0.25～0.40mのなだらかな窪みで、直径は内側で15～16.6m、外側で21～23.3mでした。周溝からは、たくさんの遺物が出土しましたが、代表的なものは、図示した土師器(はじき)の鉢です(図の５，なお遺物の番号は，発掘報告書の掲載番号をそのまま用いています)。溝の底で正位に置かれたように出土しましたが、底部が割れており、その底部の破片は6.3mほど北西にありました。

墳丘の構築法　墳丘の断面図を観察すると、当時の人びとは、Ⅰとした古墳築造当時の地表と考えられる所を整地し、その周囲を削ることで墳丘の範囲を定め、その上に土を盛ったようです。その順序は，まず周縁部に土手状に盛り、次に中心部を埋めるように盛ったと考えられます。

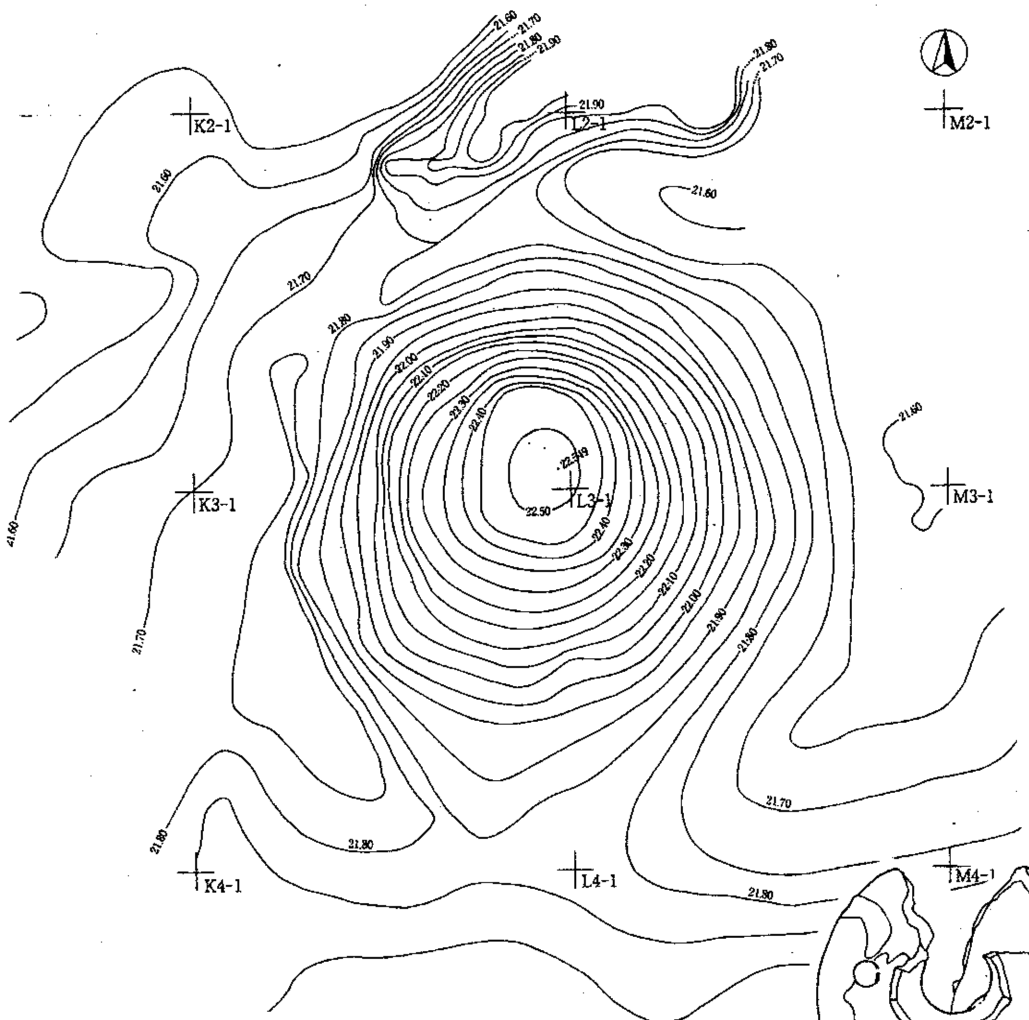
石棺の調査　８号墳の埋葬施設は、組合せ式箱式石棺です。墳丘の南側のふもと付近に造られていました。石棺の北西角の約45㎝上には、須恵器(すえき)の壺（図の１）が割れて出てきました。

石棺は、蓋(ふた)石４枚、壁石10枚、床石５枚の計19枚の筑波変成岩類(つくばへんせいがんるい)と呼ばれる雲母片岩(うんもへんがん)からできています。非常にもろく、蓋石・

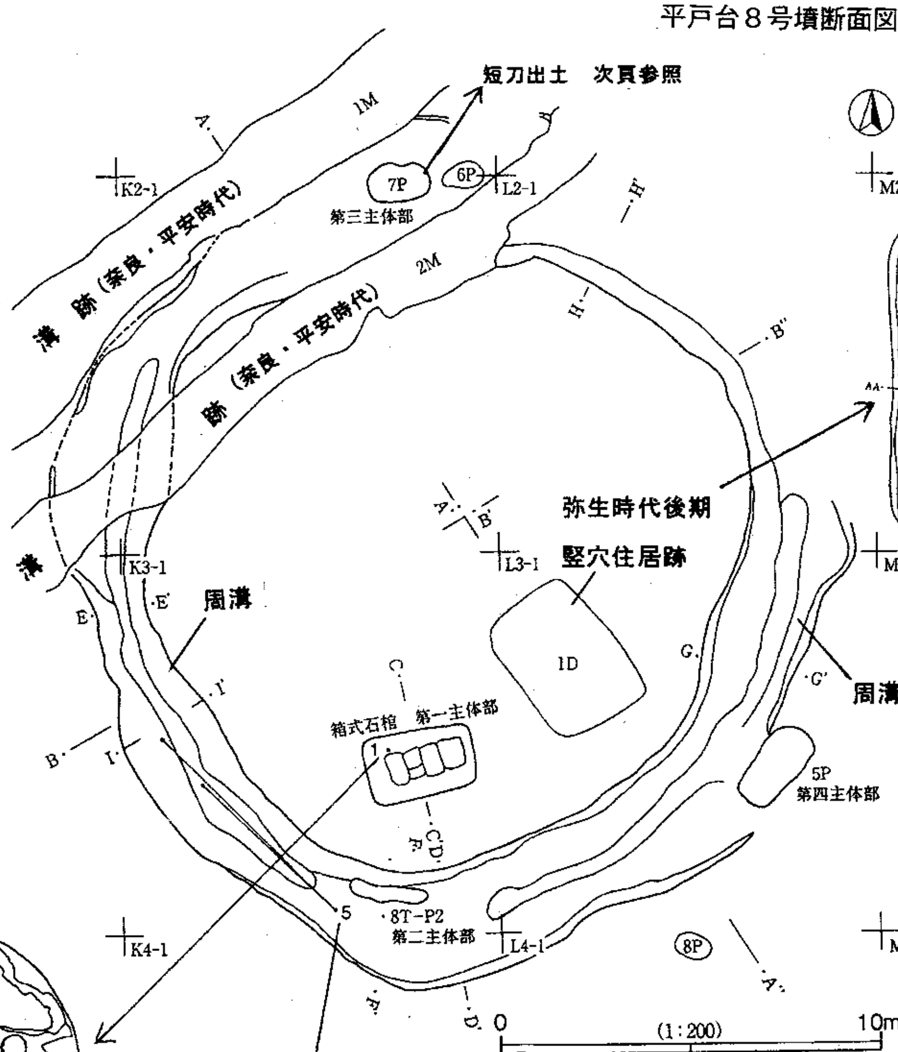




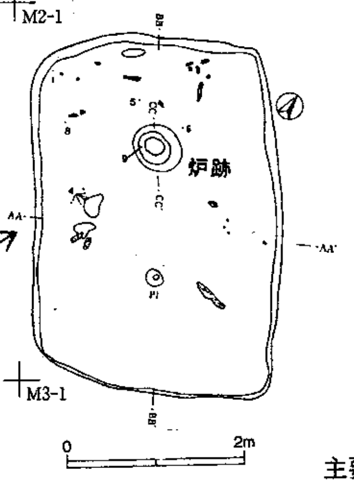
平戸台８号墳断面図

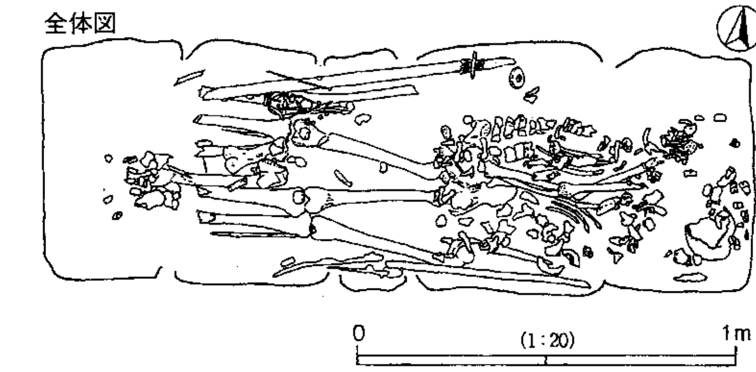


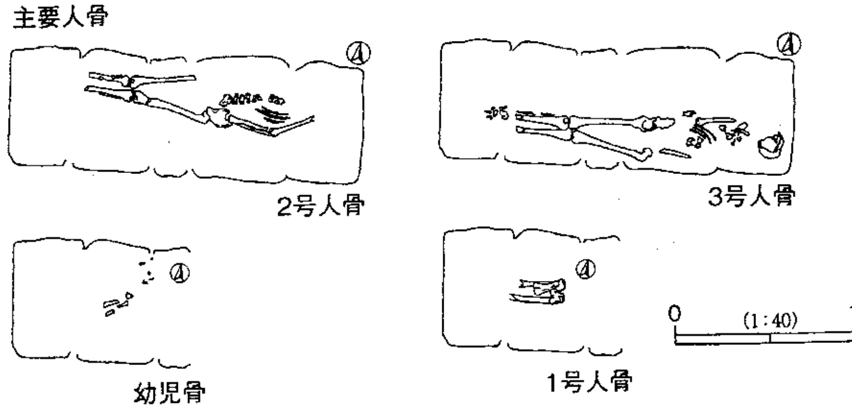
発掘前の墳丘の測量図

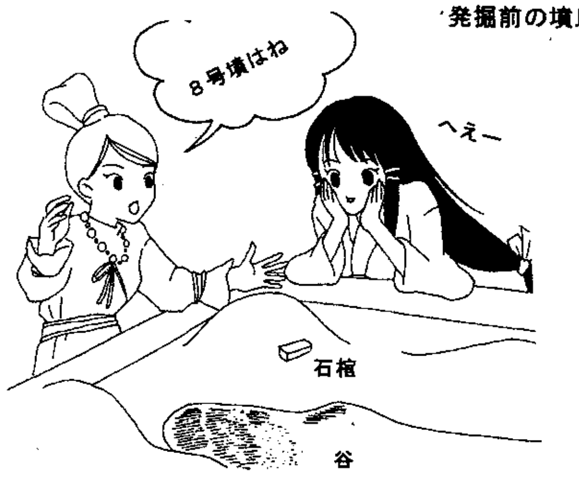


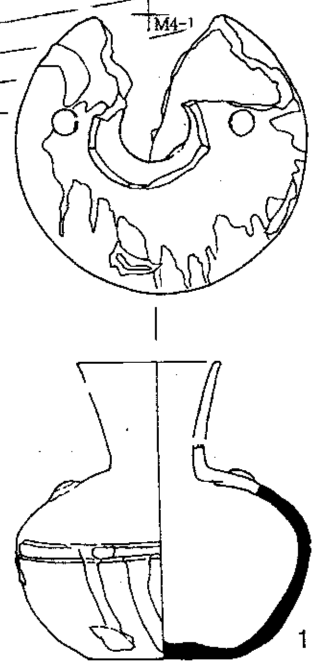
調査終了状況



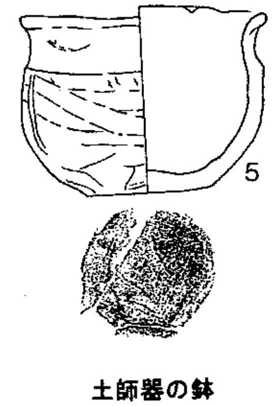




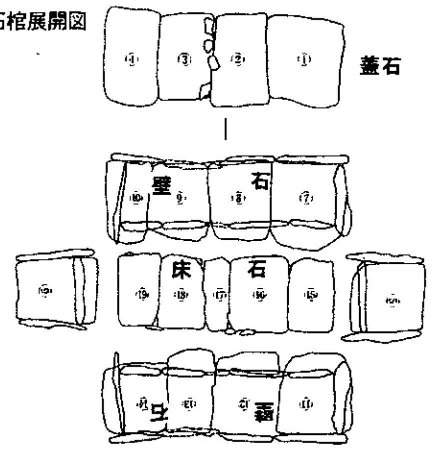


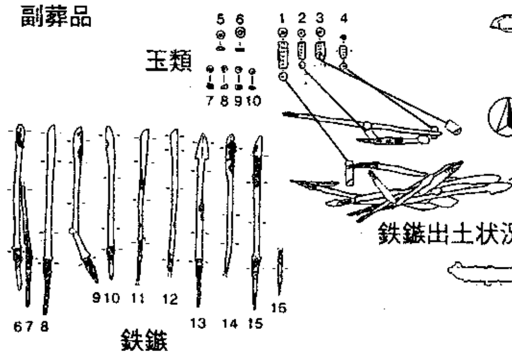


須恵器の壷

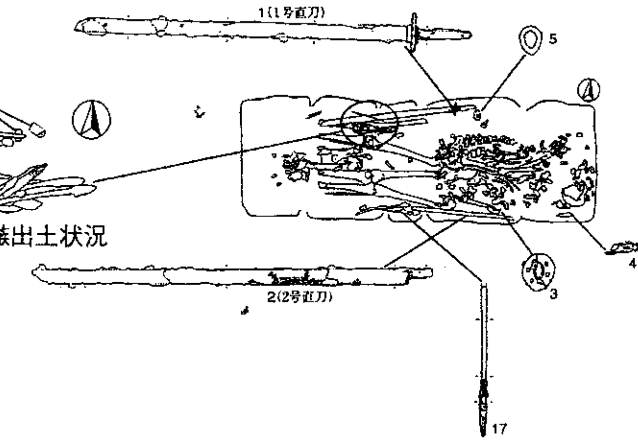


土師器の鉢





遺物番号は，発掘調査報告書の掲載番号をそのまま用いています。



石棺内遺物出土状況

壁石・床石各１枚ずつが割れていました。そのせいもあって、棺内には土が入り込んでいて、蓋を開けた時は土しか見えませんでした。この土を取り除いて行くと、やがて人骨や副葬品が出てきました。

人骨は、成人男性３体、幼児（６歳前後）２体、乳児（生後６ヶ月～１歳程度）１体合計６体と分析されました。追葬（ついそう）の結果この人数に達したものです。２号人骨（50 歳以上の熟年）と３号人骨（壮年期）が並んでおり、１号人骨（壮年期）は、２号・３号の足の付近に片付けられていました。この１号人骨が最初に埋葬された人物かもしれません。

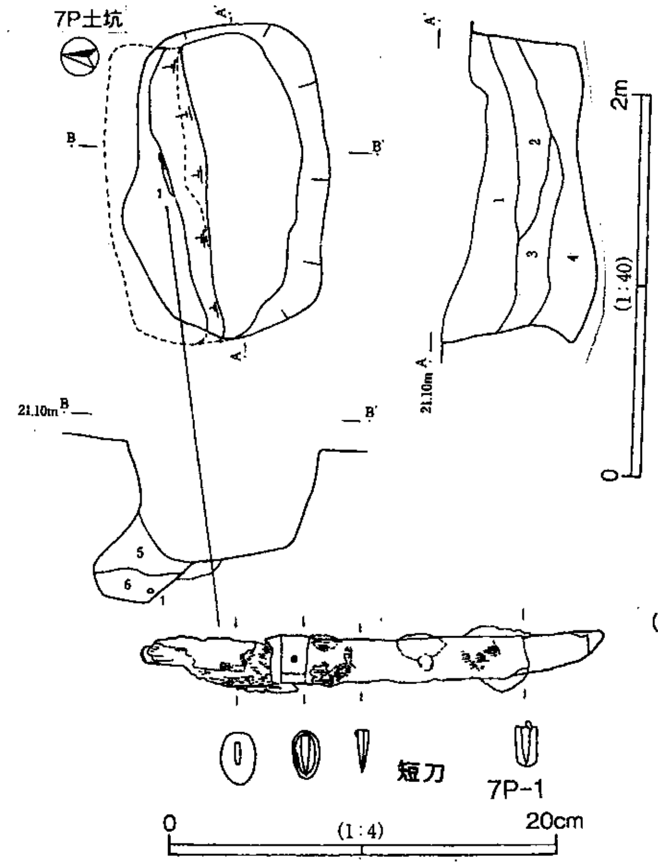
副葬品は、長さ 84～85 cmの直刀２振、鉄鏃（てつぞく）11 本分、管玉（くだたま）３点、棗玉（なつめだま）１点、臼玉（うすだま）２点、ガラス製小玉４点などでした。

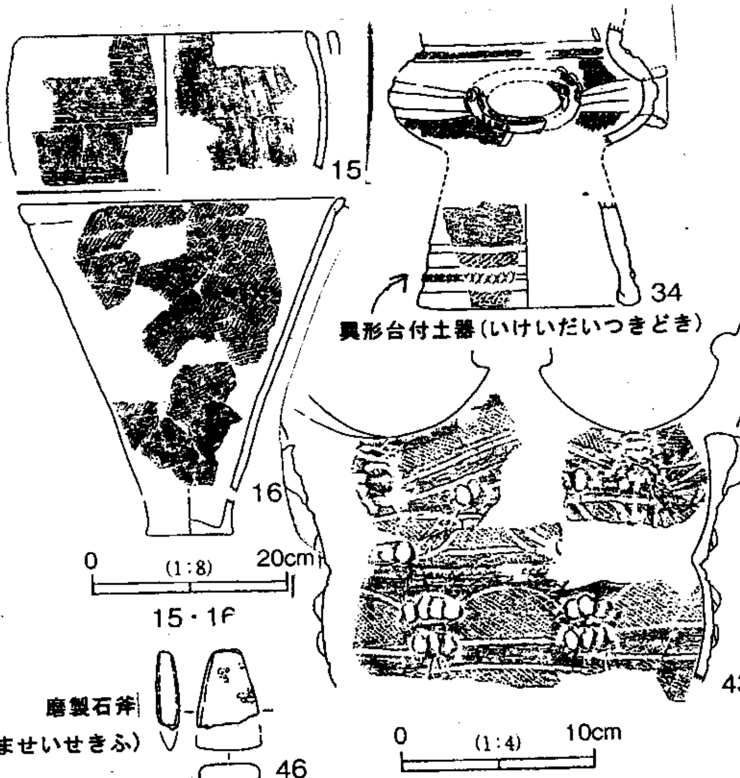
追葬や遺物等から考えて、８号墳は７世紀前半（西暦 601～650 年頃）の古墳と考えられます。

その他の墓坑　８号墳の周溝内には、お墓と推定される３基の土坑が見つかりました。２基は底の一辺が壁側をえぐるように掘られるという特徴があり、うち１基（７Ｐ土坑）には長さ 24 cmの短刀が副葬されていました。石棺よりも後の時代と考えられます。８号墳が墓地として認識され続けたのでしょう。

その他の遺構・遺物　８号墳の墳丘の下には、弥生時代後期の竪穴住居跡が見つかりました。古墳が造られた当時は、この住居跡の痕跡が窪みとなっていたらしいことが墳丘の断面観察でわかります。また、８号墳からは、多数の縄文土器が出土しました。早期～後期にわたり、特に前期後半～中期初頭と後期後半に見るべきものがあります。

８号墳より新しい遺構として、奈良・平安時代と推定される溝跡が２条見つかっています。





縄文時代の遺物

―編集後記―
次回は川崎山遺跡②を特集する予定です。

埋（まい）やちよ　№２２
―千葉県八千代市埋蔵文化財通信―
平成 21 年７月１５日
編集・発行　八千代市教育委員会
教育総務課　文化財班
八千代市大和田 138－２
〒276－0045　☎047（481）0304